

1 オウレン

2 純度試験(1)の項を次のように改める。

3 純度試験

4 (1) 重金属 (1.07) 本品の粉末1.0 gをとり、第3法によ
5 り操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液2.0 mLを加え
6 る(20 ppm以下)。本試験で判定困難なときは、原子吸光光
7 度法 (2.23) により試験を行う。本品の粉末5.0 gを白金製、
8 石英製又は磁製のるつぼにとり、弱く加熱した後、450～
9 550 °Cで強熱し、灰化する。冷後、残留物に2 mol/L硝酸試
10 液少量を加え、必要ならばろ過し、2 mol/L硝酸試液少量で
11 数回洗い、ろ液及び洗液を合わせ、2 mol/L硝酸試液を加え
12 て正確に20 mLとし、試料溶液とする。別に鉛標準液2.5
13 mLに2 mol/L硝酸試液を加えて正確に20 mLとし、標準溶液
14 とする。試料溶液及び標準溶液につき、次の条件により試験
15 を行うとき、試料溶液の吸光度は標準溶液の吸光度以下であ
16 る(5 ppm以下)。

17 使用ガス：

18 可燃性ガス アセチレン又は水素

19 支燃性ガス 空気

20 ランプ：鉛中空陰極ランプ

21 波長：283.3 nm

22 なお、エキス剤又は浸剤・煎剤に用いる旨を表示するもの
23 についての操作法及び限度値は次のとおりとする。

24 本品の中切4.0 gに水80 mLを加えて、時々振り混ぜなが
25 ら、液量が約40 mLになるまで加熱し、冷後、ろ過する。こ
26 の液につき、第3法により操作し、試験を行う。比較液には
27 鉛標準液2.0 mLを加える(5 ppm以下)。